

令和 7 年度第 3 年次編入学選抜
「環境」に関する論述試験
問 題 冊 子

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答用紙には、必ず本学部の受験番号を所定の場所に記入すること。
3. 解答は、問題番号に対応する解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙の中の※印欄には記入しないこと。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

「環境」に関する論述試験 問題

- 1 日本では近年、「都市（まち）の木造化推進法」の施行や、大規模建築物の木造化を促進させる建築基準法の改正が行われるなど、建築物の木造化が推し進められている。このことに関連して、以下の問いに答えなさい。
- 問 1 近年，日本で建設された，または建設途中の，木材を多用した大規模建築物の具体例を一つあげなさい。
- 問 2 建築材料として木材を使用することが，どのように脱炭素につながるのか，その理由を 150 字程度で説明しなさい。
- 問 3 建築物の木造化を脱炭素社会の実現に結びつける上で，木材を材料として使用することのほかに重要なことを挙げ，その理由を含めて 150 字程度で説明しなさい。

「環境」に関する論述試験 問題

2 公園や緑地の設置計画について、以下の問いに答えなさい。

問1 次の4つの用語のうち2つを選び、その意味をそれぞれ50字以内で説明しなさい。

- 緑被率
- ヒートアイランド現象
- 風の道
- ブールバール（広幅員道路）

問2 都市における公園や緑地には様々な機能がある。こうした機能を効果的に生かすとともに、利用者が利用しやすいように、どのような計画や設計が行われているか、その理由を含め、300字程度で述べなさい。